

泉南市教育委員会会議 令和7年第6回定例会会議録

(1) 日時・場所

令和7年6月18日(木)

午後3時00分 開会 午後3時53分 閉会

泉南市埋蔵文化財センター 講堂兼視聴覚室

(2) 教育委員会出席者

上中 和則	教育長
湊 久晶	教育委員会委員(教育長職務代理者)
飯沼 治美	教育委員会委員
辻野 治重	教育委員会委員
渡邊 香代	教育委員会委員

(3) 事務局出席者の職氏名

桐岡 秀明	教育部長
三野 薫	教育部参与
西山 徹	教育総務課長
大植 睦子	教育総務課参事(学校給食センター所長)
辻 康治	生涯学習課長
森 大輔	生涯学習課参事(人権・スポーツ担当)
松本 剛	生涯学習課主幹(青少年センター館長)
石橋 広和	文化振興課長
岡本 敬	指導課参事(指導担当)
野々瀬 祐次	人権国際教育課長
小林 克子	教育サービス課長兼教育サービス係長

(4) 休憩・遅刻等について

(5) 会議録署名者の氏名

上中 和則
飯沼 治美

泉南市教育委員会会議 令和7年第6回定例会 議事日程

令和7年6月18日(水) 午後3時00分 開会

泉南市埋蔵文化財センター 講堂兼視聴覚室

日程番号	議案等の番号	件名
日程第1		開 会 会議録の承認
日程第2		会議録署名者の指名
日程第3	報告第1号	教育長報告
日程第4	報告第2号	事務局報告 (1) 夏休みこどもの居場所づくり事業について
日程第5	議案第1号	泉南市教育委員会評価委員会委員の委嘱について
日程第6	議案第2号	泉南市社会教育委員の委嘱について
日程第7	議案第3号	泉南市立青少年センター運営委員会委員の委嘱について
日程第8	議案第4号	泉南市いじめ問題対策連絡協議会委員の委嘱又は任命について
日程第9	議案第5号	泉南市立学校におけるいじめ事案に係る重大事態について
日程第10	議案第6号	泉南市立学校におけるいじめ事案に係る重大事態について
日程第11		その他 ・子どもの声制度について ・小学校給食民間調理場活用方式(デリバリー方式)の変更に伴う給食の試行について ・令和6年度中学校3年生の進路状況について

午後 3 時 00 分開会

○上中教育長 それでは、ただいまから泉南市教育委員会会議令和 7 年第 6 回定例会を開催いたします。

出席者が過半数であり、定足数に達しておりますので、会議は適法に成立いたしました。

これより日程に入ります。

日程第 1、会議録の承認についてお諮りいたします。

泉南市教育委員会会議令和 7 年第 5 回定例会会議録は、既に案として委員の皆様へ配付をいたしており、確認をいただいておりますので、原案のとおり承認することに御異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○上中教育長 全員異議なしと認めます。よって泉南市教育委員会会議令和 7 年第 5 回定例会会議録は、承認することに決定いたしました。

次に日程第 2、会議録署名者の指名を行います。

本日の会議録署名者は、泉南市教育委員会会議規則第 13 条により、教育長のほかに教育長において、飯沼委員を指名いたします。よろしくお願いします。

次に日程第 3、報告第 1 号、教育長報告を議題といたします。

(報告開始)

○上中教育長 スライドを見ていただきながらお話をさせていただきます。1 点目、第 75 回全国都市教育長協議会定期総会並びに研究大会川越大会が、5 月 15、16 日に埼玉県川越市で開催されました。『文部科学省講話』として初等中等教育局主任視学官の田村学氏から、文部科学省の資料を基に具体的な取組も交えながら講話がありました。

働き方改革も考えながら、全国で新しい次の学習指導要領に向けて、いろんなことを研究されております。各地の取組も紹介していただき

ました。本日は、東京都東久留米市のチャレンジクラス、山口県萩市の『HAGI STAR PROGRAM』を少し紹介させていただきます。

東京都東久留米市のチャレンジクラスは、学校にも教育支援センターにも行けない子どもたちを対象に、国から研究開発学校の指定を受けて、市内の中学校の教室に特別の教育課程を特設して、1 日 4 時間授業を行うものです。通常の年間授業時間数は週 29 コマ、年間 1,015 時間ですが、チャレンジクラスは週 19 コマで 665 時間です。1 日 4 時間の無理のない教育課程で、できるだけ学校へ来て勉強に慣れていくような取組をしているところです。通常の週 29 コマは、月、火、木、金曜日が 6 コマずつで、水曜日が 5 コマの合計 29 コマですが、チャレンジクラスは通常授業の 1 時間目と 6 時間目がない 4 コマ授業となっています。映像を見てください。

(動画視聴)

○上中教育長 不登校の子どもが少しでも学べるような機会をつくるために、全国でいろんな工夫がされています。

ただ、このチャレンジクラスは研究開発ということで、普通の学校では勝手にはできなくて、泉南市でも、これからこういう研究を進めていけるといいなと思いました。

次は、吉田松陰の山口県萩市の取組で、萩市は人口が約 4 万人、小学校が 17 校で 1,325 人、中学校が 13 校で 804 人と、児童生徒数が少ない学校が大変多く、県外からも移住を募って休校のピンチをしのいでいるという話がありました。佐々並小学校は、9 人で 3 学級を何とか維持しているというお話もありました。萩市では、まちづくり再生の一環と連動させて、生涯学習を含めた部活動の地域移行を進めています。令和 8 年度からは、地域の活性化と、中学生が楽しんで部活動に取り組めるよう、部活動を地域に完全移行していくようです。

そして、2 番目に大阪府公立学校情報機器共

同調達協議会で講演がありました。文部科学省初等中等教育局教育課程課長からオンラインの研修がありまして、その紹介をさせていただきますので、映像を御覧ください。

(動画視聴)

○上中教育長 政府が10年前に出したプロモーション動画ですが、だんだんと実現しているのが増えていますね。スマートフォンで決済とか、遠隔診療、無人走行バスは大阪・関西万博で4台走っています。西信達小学校でも、この映像を見せて未来が楽しみやなって話をしたのですが、先ほどの教育課程課長さんの話の中で、日本の子どもたちは世界的に見ても幸せ感(ウェルビーイング)や、自己有用感が低いという現状があると話されていました。

学校では、どの学年も学習時間は減ってきている中で、勉強の仕方が分からない、ICTをどう使っていくか、働き方改革をどうしていくかなど、様々な課題があります。文部科学省は、教員の負担軽減のために授業時数を減らすように言われています。例えば先ほどの話にありました週29コマ、1,015時間に、運動会とかの学校行事の時間が最低でも約80時間必要で、合計で約1,100時間になるのが現状です。実際の学校現場の時間数は1,100時間を週29コマで割ると41週間になりますが、文部科学省は年間35週間と考えています。学校が文部科学省の年間35週間にするには、これからもっと細かく計算をして、学校での働き方改革を推進していかないとはいけません。その中でデジタルを使うと、どのように時間が浮いてくるのか、例えば板書、皆さん学生時代は先生が黒板に書いて、それを写したと思いますが、それをICT、デジタルでやると10分浮いてきます。45分の授業が35分でできるようになります。これからはこういうICTを使って、より授業を効率化しなさいということを文部科学省から言われています。

ただ、やっぱりノートに写すということも大

事だと思っていますが、時代の流れ的には、ICTやタブレットは、学校の中ではなくてはならない存在です。体育でも、タブレットを使って運動の様子を映して見合っ、いいところを見つけるだとか、コンパスの使い方も動画で見て、それを自分で書いてみて、細かいチェックは先生がするというような授業に変わっています。これが先ほどの45分の話になるのですが、45分授業を、40分授業に変えた場合、1,015コマに5分掛けると5,075分になります。それを40分で割ると127コマ浮いてきます。そうすると学校行事もこの127コマの中でできるのではないかということです。東京では、先ほど私が申し上げました1,015時間プラス80時間ということはしないで、40分授業の、1,015コマ以内で授業をしているところがあります。もちろん、この40分でやろうと思ったら、先生たちもタブレットを相当上手に使って、効率よくやらないといけません。時代の流れ的には、このようになっていくのかなと思っております。泉南市でも効率よくするためにICTなどを活用しながら、40分授業にするか否かは、これから検証していきたいと考えています。文部科学省は、いたずらに1,086時間を超えるような計画は立てないように、年間40週から41週間あるのだから、標準化しなさいというような指導をしています。それに私たちがついていけないといけない状況です。教育課程の高度化と働き方改革の両立を、教育DXでICTを使ってやりましょうというのが文部科学省のスタンスです。

話は替わりまして、先日の校園長会で指示事項として凡事徹底を申し上げました。当たり前のことを、当たり前にしっかりと、安全や、挨拶を徹底して、信頼される学校づくりをやってください。AIドリルnavimaをしっかり活用してくださいねということ。それから、寄り添うということは、どういうことかという話をさせていただきました。

報告として、せんなん子ども会議が、先日から始まりました。5月24日に第1回があり、ど

んな子ども会議にしたいかを子どもたちで話し合い、子どもの声を取り上げながら進めていくという取組です。

また、官公庁連絡協議会が各月であり、泉南警察署長、消防署長、市長、郵便局長などで情報交換をしております。その中で警察署長から先日、市内で当て逃げがありましたという話を聞きました。小学生が車と接触して、運転手さんは大丈夫って聞いて、子どもは大丈夫って答えたので、運転手はそのまま警察に報告をしないで離れたということです。子どもは家に帰ったら痛くなってきて、親に相談し、病院で検査をすると骨折していたことがわかったそうです。結局、その場から離れた男性は逮捕されましたが、決して悪気があってやったことでなくても必ず届出をして、病院へ連れて行ってあげて、完全に大丈夫かどうかを確かめてから離れるということをしてくださいと警察署長から話がありました。もう一つトクリュウの話がありました。最近よく言っている匿名・流動型犯罪グループの詐欺のことです。これも泉南署管内で出始めているので、十分に気をつけてください。ややこしい電話は、すぐに切ってくださいという話でございました。

御清聴ありがとうございます。

(報告終了)

○上中教育長 今回の報告に対して、質問等はありませんでしょうか。よろしいですか。

ありがとうございます。

ないようですので、本報告は終了させていただきます。

次に、日程第4、報告第2号、事務局報告を議題といたします。

夏休みこどもの居場所づくり事業について、松本生涯学習課主幹（青少年センター館長）から報告があります。お願いします。

○松本生涯学習課主幹（青少年センター館長）
それでは、日程第4、報告第2号、夏休みこど

もの居場所づくり事業について、御説明申し上げます。資料を御覧ください。

本事業は、みんな集まれ！！こども遊び広場！！と題しまして、平成31年度から実施しております事業で、本年度においても市内の全10小学校にて実施を予定しております。日時、場所については記載のとおりとなっております。

市内の小・中学生を対象としており、中学生については事業のサポートスタッフとして参加していただけます。各校定員40名で、エアコンが設置されている特別教室等をお借りして、熱中症対策等を施しまして実施する予定としております。

内容としては大型絵本の読み聞かせ等を行う「あそぼう！！本のひろば」、遊びコーナーを巡る「わくわくランド」、スライドを使ったクイズを行う「CIRと一緒に！せかいのどうぶつをしろう！」の3本をセットにしたプログラムとなっております。

経費については資料2ページの一番下にございますとおり、総額118万8,000円の予算額となっております。

甚だ簡単ではございますが、以上、御報告させていただきます。

○上中教育長 ありがとうございます。

ただいまの報告に対し、御質問・御意見等はありませんでしょうか。

飯沼委員、お願いします。

○飯沼委員 1日40名とされていますが、多くなることって去年はあったのでしょうか、教えてください。

○上中教育長 松本生涯学習課主幹（青少年センター館長）、お願いします。

○松本生涯学習課主幹（青少年センター館長）
定員を超え学校は、昨年度2校程度ございま

して、それ以外は定員内での実施できております。大体、毎年、同じような状況が続いております。

○上中教育長 よろしいですか。

ほかございませんでしょうか。

ないようですので、以上で、本報告を終了いたします。

ほか、事務局から漏れ等はございませんか。

それでは、次に、日程第5、議案第1号、泉南市教育委員会評価委員会委員の委嘱についてを議題といたします。

本議案の説明を西山教育総務課長からお願いいたします。

○西山教育総務課長 私からは日程第5、議案第1号、泉南市教育委員会評価委員会委員の委嘱について御説明させていただきます。議案書を御覧ください。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の中で、教育委員会は毎年自らの活動状況の点検及び評価を行うことが義務とされていることから、泉南市教育委員会評価委員会を設置しているところです。今回、次の者を泉南市教育委員会評価委員に委嘱したいので、泉南市教育委員会評価委員会規則第3条第1項及び第2項の規定により承認を求めます。

評価委員につきましては、表中上から順に泉南市青少年指導員協議会副会長を務めてくださっています柿本繁雄様、次に小学校の校長を務めておられました佐野耕治様、次に泉南市PTA協議会会長を務めてくださっています田中暢子様、次に小学校の校長を務めておられました宮崎勝男様、また佐野様、宮崎様につきましては昨年度から引き続きお願いしたいと考えております。新任再任の別の欄は全て新任とありますが、これは委嘱した職務が終了すれば解任となることから新任と記載しております。

御審議のほど、よろしく願いいたします。

○上中教育長 ただいまの説明に対し、御質問・御意見等はございませんでしょうか。よろしいですか。

では以上で質問・意見等を終了し、議案第1号を採決いたします。

お諮りいたします。本議案を承認することに御異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○上中教育長 全員異議なしと認めます。よって議案第1号は承認することに決定いたしました。

続いて、日程第6、議案第2号、泉南市社会教育委員の委嘱についてを議題といたします。

本議案の説明を辻生涯学習課長からお願いいたします。

○辻生涯学習課長 議案第2号、泉南市社会教育委員の委嘱について、議案書を御覧ください。

社会教育法第15条第2項及び泉南市社会教育委員に関する条例第2条の規定により、承認を求めます。お二方いらっしゃいまして、まず辻友成様、新任、泉南市青少年指導員協議会会長、水戸智恵様、新任、泉南市PTA協議会代表となります。

提案理由としまして、木村雅司委員及び伊須田未来委員の退任に伴いまして、辻友成氏及び水戸智恵氏を泉南市社会教育委員として適任者と認め新たに委嘱したいので、提案するものとなります。

2ページ御覧いただきまして、こちら任期は2年となっておりますが、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間となりますので、令和7年10月25日までが任期となります。

簡単ではございますが、御審議のほど、よろしく願いいたします。

○上中教育長 ただいまの説明に対し、御質問・御意見等はございませんでしょうか。よろしいですか。

では、ないようですので、以上で質問・意見等を終了し、議案第2号を採決いたします。

お諮りいたします。本議案を承認することに御異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○上中教育長 ありがとうございます。全員異議なしと認めます。よって議案第2号は承認することに決定いたしました。

それでは、次に、日程第7、議案第3号、泉南市立青少年センター運営委員会委員の委嘱についてを議題といたします。

本議案の説明を松本生涯学習課主幹(青少年センター館長)からお願いします。

○松本生涯学習課主幹(青少年センター館長) それでは、日程第7、議案第3号、泉南市立青少年センター運営委員会委員の委嘱について、御説明させていただきます。議案書を御覧ください。

泉南市立青少年センター運営委員会規則第3条第2項に規定する泉南市立青少年センター運営委員に次の者を委嘱したいので、泉南市教育委員会の事務委任等に関する規則第2条第1項第12号の規定により承認を求めます。

氏名を読み上げさせていただきます。山下裕子様、泉南市子どもの権利条例委員会の会長でございます。続きまして、水戸智恵様、こちらは泉南市PTA協議会の副会長兼保護者委員長でございます。あと、泉南市職員としまして赤野善彦教育部次長兼指導課長及び野々瀬祐次人権国際教育課長の2名を含めて4名でございます。以上の者を泉南市立青少年センター運営委員会委員として最適者と認め委嘱したいので、今回、提案するものでございます。

提案理由としましては、2ページに記載のとおり4名の方が、今回退任されますので、それに伴い提案するものでございます。

以上となります。御審議のほど、よろしくお

願いいたします。

○上中教育長 ありがとうございます。ただいまの説明に対し、御質問・御意見等はございませんでしょうか。よろしいでしょうか。

では、ないようですので、以上で質問・意見等を終了し、議案第3号を採決いたします。

お諮りいたします。本議案を承認することに御異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○上中教育長 全員異議なしと認めます。よって議案第3号は承認することに決定いたしました。

それでは、日程第8、議案第4号、泉南市いじめ問題対策連絡協議会委員の委嘱又は任命についてを議題といたします。

本議案の説明を岡本指導課参事(指導担当)からお願いいたします。

○岡本指導課参事(指導担当) 議案第4号、泉南市いじめ問題対策連絡協議会委員の委嘱または任命について、御提案申し上げます。

次の者を泉南市いじめ問題対策連絡協議会委員に委嘱又は任命したいので、泉南市いじめ問題対策連絡協議会等条例第4条の規定により、承認を求めます。

5ページを御覧ください。

今、申しあげました第4条でございます。連絡協議会は、委員10人以内で組織する。そして、委員は次に上げる者のうちから泉南市教育委員会が委嘱又は任命することとなっていて、泉南市立学校の校長会代表、泉南市立学校の教員代表、関係行政機関の職員、市の職員となっています。今回は任期途中で人事異動がありましたので、4名を新任としてお諮りしたいと考えています。承認を求めるときにつきましては1ページに記載しているとおりでございます。

提案理由は先ほど申しあげましたように、泉

南市いじめ問題対策連絡協議会委員として適任者と認め委嘱または任命したいので、この4名の方を提案するというごさいます。御審議のほど、よろしくお願ひします。

○上中教育長 ただいまの説明に対し、御質問・御意見等はございませんでしょうか。

では、ないようですので、以上で質問・意見を終了し、議案第4号を採決いたします。

お諮りいたします。本議案を承認することに御異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○上中教育長 全員異議なしと認めます。よって議案第4号は承認することに決定いたしました。

次に、日程第9、議案第5号及び日程第10、議案第6号につきましては、個人情報を含む案件であるため、泉南市教育委員会会議規則第8条第1項の規定により、秘密会として議論することを発議します。

議論を公開しない秘密会にするには、泉南市教育委員会会議規則第8条第1項の規定により、教育長または委員の発議により、出席者の3分の2以上の多数の議決を要し、かつ、同条第2項により、討論を行わないでその可否を決しなければならないことと規定されております。

よって、直ちに本件を採決いたします。

お諮りいたします。議案第5号及び議案第6号については、公開しない秘密会により議論することに御異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○上中教育長 全員異議なしと認めます。よって、議案第5号及び議案第6号は、秘密会により議論することに決定いたしました。

(ここから秘密会)

[REDACTED]

[Redacted text block]

(ここまで秘密会)

○上中教育長 次に、日程第11、その他、子ども

もの声制度について、西山教育総務課長から説明があります。お願いします。

○西山教育総務課長 子どもの声制度について、御説明させていただきます。

その他の資料（１）を御覧ください。

子どもの声制度は、子どもの悩みや不安等を、直接、市長や教育長へ手紙を通じて届けるものとなっており、手紙が届けば市長、教育長から直接お返事をする事となっております。

資料１枚目を御覧ください。

保護者の皆様へ本制度について周知するための配布文書となっております。

資料２枚目は、中学生の皆さんにお配りするものとなっており、いじめ、体罰、虐待など、誰にも相談できず悩んでいること、つらいことはありませんか、あなたの気持ちを市長、教育長へ手紙等で届けませんかという内容となっております。

資料３枚目から５枚目については記入用紙で、折れば封筒になり切手なしで、直接、市長や教育長へ届くようになっており、友達の悩み、つらいことを相談しながら一緒に解決方法を探していくという制度となっております。

本資料につきましては、夏休み前に、泉南市内の中学１年生から３年生を対象に配布したいと考えております。

○上中教育長 ただいまの説明に対し、御質問・御意見等はございませんでしょうか。

では次に、小学校給食民間調理場活用方式（デリバリー方式）の変更に伴う給食の試行について、大植教育総務課参事（学校給食センター所長）から説明があります。お願いします。

○大植教育総務課参事（学校給食センター所長）

その他（２）小学校給食民間調理場活用方式（デリバリー方式）の変更に伴う給食の試行について、御説明させていただきます。

資料１枚目が保護者への通知となっております

ます。小学校給食民間調理場活用方式（デリバリー方式）は８月２６日、８月２７日、二日にかけて全校児童に向けて試行をさせていただく予定になっております。それに伴う保護者へのお知らせになります。給食の試行に際し、保護者の費用負担はありません。全部、委託業者の負担で試行をさせていただきます。

２枚目は、試行日の献立の内容となっております。本来でしたら、こちらにアレルギー表をおつけさせていただいて３枚１組を保護者の方々にお渡しさせていただく予定ですが、すいません、成分表が整理できておらず、現在、業者と調整中でございます。アレルギー表は、今週、来週、早々に作成し、３枚１組のお知らせを７月の１週目または２週目頃に保護者にお渡しする予定となっております。

３枚目は、小学校給食、本番直前のスケジュール表です。試行前及び２学期からのデリバリー方式の開始に伴い、委託業者がスムーズに配送等を行うことができるように、８月１８日から１週間、月曜日から金曜日にかけて配送及び配膳員の作業状況の確認をしながら本番さながらに配送、配膳員の行動の予行練習をさせていただくこととなっております。本番さながらと言いましたが、空の食缶を用意して練習をさせていただくという予定になっております。８月２２日は、配膳員が配膳室の清掃を行って試行及び２学期の給食提供につなげていく予定をしております。

○上中教育長 ただいまの説明に対し、御質問・御意見等はございませんでしょうか。よろしいですか。

では次に、令和６年度中学校３年生の進路状況について、三野教育部参与から説明があります。お願いします。

○三野教育部参与 それでは、その他（３）、令和６年度中学校３年生の進路状況について御報告申し上げます。

資料を御覧ください。

令和6年度の卒業者の総数につきましては、521名でございました。そのうち高等学校等の進学者数は、87.4%に当たる445名が進学されました。

次に卒業者総数のうちの就職者等につきましては、0名ということでございます。

また上記以外としましては、12.6%に当たります66名という結果になっています。

さらに進路未決定者という形で記載をしておりますが、令和6年度は、0名ということになっております。

また、私立高校への進学者数につきましては103名が進学されました。

○上中教育長 ただいまの説明に対し、御質問・御意見等はございませんでしょうか。

それでは、以上で本日の日程は全て終了しました。

これまでの報告、議案のほかにも、御質問、御意見等はございませんでしょうか。

辻野委員、お願いします。

○辻野委員 戻りますが、議案第2号の承認で委嘱する委員の年齢が気になったのですが、年齢制限はないのでしょうか。

○上中教育長 辻生涯学習課長、お願いします。

○辻生涯学習課長 特に制限というのは設けてございません。

○上中教育長 よろしいですか。すいません。ほかございませんでしょうか。

ないようでしたら、次回、泉南市教育委員会会議令和7年第7回定例会の日程について、お諮りしたいと思います。

原則、第3水曜日の前後としておりますが、日程について西山教育総務課長から提案をお願いします。

○西山教育総務課長 それでは、私から次回定例会の開催日につきまして、7月の第3水曜日である7月16日15時から開催ということで提案させていただきたいと思います。

○上中教育長 ありがとうございます。

それでは、次回の教育委員会会議定例会の開催日時は令和7年7月16日（水）15時からということによろしいでしょうか。

では以上をもちまして、泉南市教育委員会会議令和7年第6回定例会を閉会いたします。ありがとうございます。

午後3時53分閉会

署 名 ()

()